

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学院医学研究科放射線
診断学講座
研究責任者： 掛田伸吾

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 脳神経の病理標本をリファレンススタンダードとする深層学習再構成を用いた MRI 撮像の研究

研究の目的

現在、脳の神経を詳しく調べるための新しい MRI 検査方法の研究を行っています。従来の MRI 検査では、脳の細かい神経まで鮮明に写すことが難しく、病気の診断に困ることがありました。最近開発された新しい撮影技術により、より短時間で鮮明な画像が撮れるようになりました。

この研究では、新しい MRI 撮影で得られた画像が、実際の脳の構造とどの程度一致しているかを調べるために、MRI 画像と病理検査の結果を比較します。病理検査とは、顕微鏡で実際の組織を詳しく調べる検査のことです。

この研究により、将来的には脳の神経の病気をより早く、より正確に診断できるようになり、患者さんの治療に役立つことが期待されます。

研究実施期間 実施許可日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日

対象となる方

A: MRI 撮像対象者

既存の承認研究（研究課題名：「高速撮像技術を用いた MRI による病変評価・撮影法研究」、承認番号：2022-052）に準じ撮影された方です。（令和 6 年 10 月 1 日～令和 8 年 9 月 30 日）脳神経画像の対象症例数は 40 症例となります。

B: 病理標本対象者

脳神経解剖を依頼または了承された方で臨床的に脳幹または脳神経に病変を疑わない剖検症例です。加えて解剖する病理医が切り出しの際に脳幹部及び脳神経に病変の可能性が限りなく低いと判断した症例に限ります。症例数は 2 症例で対象期間は実施許可日～令和 8 年 9 月 30 日となります。

利用させていただきたい試料・情報について

この研究では、病理解剖で得られた脳の組織（病理標本）と画像（病理画像）、カルテや診療情報提供文書より性別、年齢、既往歴、死因に関する情報を使用させていただきます。これらの情報は研究の解析に必要なものですが、お名前などの個人を特定できる情報は一切使用いたしません。

外部への試料・情報の提供

外部への資料や情報の提供はありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院放射線診断科 奥石泰樹 0172-39-5103
-------	-------------------------------------